

いたばしグリーンプラン2025の進捗や課題

1 いたばしグリーンプラン2025の概要

(1) 概要

「いたばしグリーンプラン」は、都市緑地法に定める「市町村の緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画」（緑の基本計画）であり、現計画は平成30年3月に第5期として策定した。

本基本計画は、計画目標とそれを達成するための施策体系を示しており、施策展開3テーマ、10施策・78事業にて構成される。本報告では、事業の進捗状況と数値目標の達成状況と課題を報告するものである。

(2) 計画期間

平成30(2018)年度から令和7(2025)年度まで

2 計画の進捗及び課題

(1) 事業の進捗状況（令和3年度 板橋区緑と公園の推進会議による評価）

A 評価（実施した）及び実施済み	41 事業
B 評価（検討した）	26 事業
C 評価（予定通りにいかなかった、実施できなかった）	11 事業

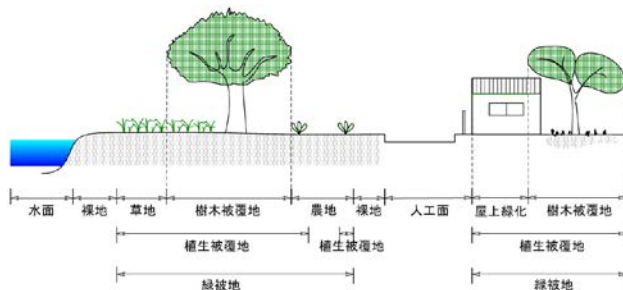
(2) 数値目標の進捗と課題

- ① 緑被率【目標値 21.0%】 20.3%（平成26年度）⇒ 19.3%（令和元年度）
保存樹木制度等の活用による既存の緑の保全や、生産緑地地区の新規指定等を進め、農地保全を推進する必要がある。
- ② 公園率【目標値 6.1%】 5.9%（平成28年度）⇒ 5.9%（令和4年4月）
公園新設に向け、公園不足地域や地域需要等が確認できた土地において、土地所有者との協議や用地取得手法（買収、無償使用契約等）の検討を要する。
- ③ 緑に関する区民満足度【目標値 40%】 35%（平成28年度）
本指標は、本計画改定時に実施するアンケートを基にしている。
区民需要を把握しながら、本計画の各施策を実施し、地域の魅力を高める緑の創出と保全を進めることで、区民満足度の増加を図っていく必要がある。
- ④ 緑のイベント・協働活動参加者数【目標値 計画期間8年間で延べ50万人】
15万6,490人（平成30年度から令和2年度までの3年間）
新型コロナウイルス感染拡大により、イベントの中止・縮小等を余儀なくされている。ポストコロナ時代を見据えながら、多くの区民がみどりを楽しみ、活動できる機会の提供と、本計画の趣旨や施策内容の理解を促し、住民参画・協働の機運を高められる情報発信を要する。

【参考 数値目標の進捗 算出根拠】

① 緑被率（令和元年度）

分類		面積(ha)	構成比(%)	各指標値率		
植生被覆地等	植生被覆地	581.40	18.07	植生被覆率 18.07%		
	非植生被覆地	2,635.60	81.93			
	合計	3,217.00	100.00	—		
緑被地等	自然面	緑被地	樹木被覆地	436.36	13.56	緑被率 19.37%
			草地	158.10	4.91	
			農地	18.80	0.58	
			屋上緑化	9.78	0.30	
			計	623.04	19.37	
	人工面	裸地	裸地	98.46	3.06	—
			水面	69.07	2.15	
			計	790.56	24.57	
			人工面	2,426.44	75.43	
			合計	3,217.00	100.00	



緑地・樹木の実態調査(X)結果(令和元年度)

緑被率：区面積に対する緑被地（樹木被覆地・草地・農地・屋上緑化）の割合

② 公園率

	令和4年4月1日現在
公園数	347 箇所
（内訳）都立公園*	4 箇所
区立公園	343 箇所
公園面積（都立含む*）	1.89 km ²
区面積	32.22km ²
公園率	5.9%

※都立公園個所数は、他区にまたがる公園を含む数値
 ※都立公園面積は、板橋区内分の面積

公園率：区面積に対する公園面積の占める割合。公園面積計÷区面積

③ 緑に関する区民満足度

令和3年度区民意識調査では、「緑地が保全され潤いのある、自然環境が整っている」、「憩える公園・緑地が整備されている」に約50%が『満足・まあ満足』と回答しており、増加傾向にある。

④ 緑のイベント・協働活動参加者数

年度	参加者数(人)	主なイベント、協働活動
平成30年度	55,700	グリーンフェスタ、地域が作る公園制度、花づくりボランティア、公園刈込ボランティア、緑のガイドツアー、赤塚植物園講習会、水田耕作体験、収穫体験学習 等
令和元年度	53,845	
令和2年度	47,395	
合計	156,940	